

令和4年度

事業報告

社会福祉法人 名東福社会

目 次

名東福祉会の理念	1
事業機構	2
利用者の状況	4
デイケア事業	9
メイトウ・ワークス	
天白ワークス	
はまなす	
レジデンス日進	
ナイトケア事業	23
相談支援事業	30
サービス品質の向上を目指した取り組み	37
決算報告	42
施設・事業所一覧	

名東福祉会の理念

【法人の理念】

利用者の思いを確かなものにする

優しい気持ちになりたい ～ホスピタリティ・マインドを意識して～

- 笑顔で接する
- ありのままを引き受ける
- 気持ちに寄り添う
- 思いを想像する
- 真摯である

【法人のミッション】 「やりたいこと」「やらねばならぬこと」

自己決定を支援すること（意思決定支援）により、
利用者および利用者支援に関わる全ての人々に安心感を与える

- 利用者が **安心** して利用したい
- 職員が **安心** して働きたい
- ボランティアが **安心** して参加したい
- 理事会・評議員会が **安心** して経営参加したい
- 後援会が **安心** して協力したい
- 地域の方々が **安心** して任せたい

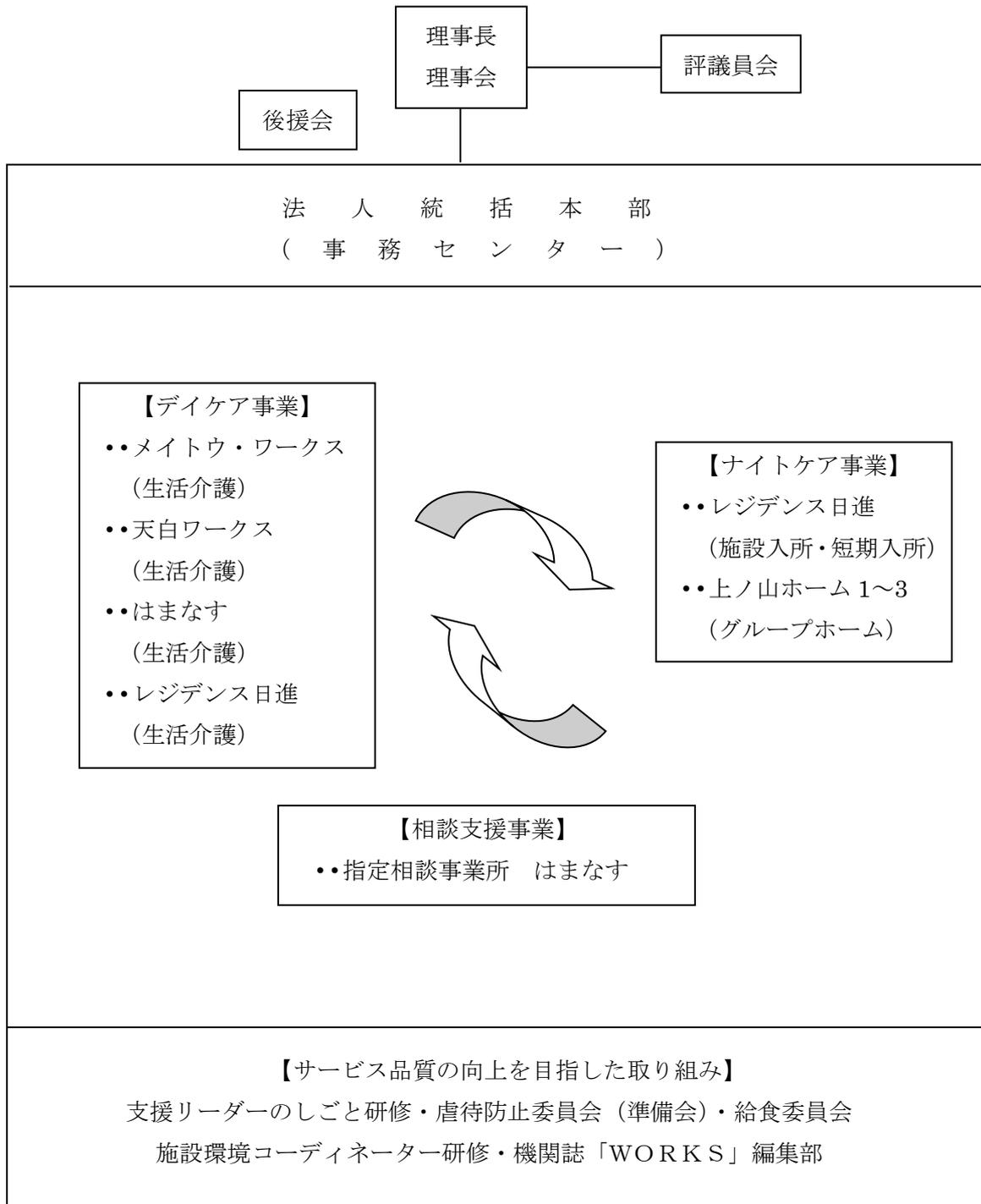
【法人のビジョン】 「ありたい姿」「あらねばならない姿」

“やりがい”を感じられる活動と、“安全”で“快適”な暮らしを提供する。

- 障害の重さを個性として理解する
- 利用者の人たちの意思を尊重する
- ひとりひとりの望みに合わせた生活を実現する
- 人とのかかわりを大切にする
- 生活環境を整備する
- 社会とつながる活動を大切にする
- 働くこと（生産活動）を支援する
- 地域との交流を大切にする
- 利用者や支援者の健康に配慮する
- 支援の質を向上させ、地域に貢献できるよう努力する

事業機構

1. 機構図



2. 職員構成 令和5年4月1日 現在：計82名（内派遣スタッフ1名）

	本部長	事務員	管理者	支援員 相談員		看護師	栄養士	医 師
				男	女			
法人全体	1	3	4(2)	31	39	2	1	1
メイトウ・ワークス			1	2	3	(1)		(1)
天白ワークス			1	3	6	(1)		(1)
はまなす			1	3	5	(1)		(1)
レジデンス日進			(1)	23	24	1	1	(1)
上ノ山ホーム			(1)					
指定相談はまなす			1	(1)	1			

* レジデンス日進の支援員および栄養士、また看護師は、常勤換算前の実人数

* () は兼務

利用者の状況

(令和5年4月1日 現在)

名東福祉会は現在、270名以上の方々から利用契約をいただき、名古屋東部地域を中心に、障害福祉サービスの提供をおこなっています。継続的に、デイケアおよびナイトケア事業を利用されている方が118名（うち、64名が両事業を重複利用）、短期入所や日中一時支援事業等の今年度の利用者が15名（うち、12名が法人デイケア事業も利用）で、グループホーム利用者の中には、就労している方も3名おられます。

障害のある方々の生活をトータルに支援できるよう、事業所間の連携を強化して利用者のニーズに応じていきたいと考えています。

1. 年齢分布

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			1		1	1	4	6	4	4	7		28
天白ワークス				1	1	1	8	3	1	2	7	5	29
はまなす			2		3	1	4	2	6	2	2		22
レジデンス日進 (施設入所支援)						1	3	4	7	6	11	8	40
上ノ山ホーム					1		3	1	5	1	9	7	27
法人全体			3	1	6	4	22	16	23	15	36	20	146
			4		10		38		38		56		

2. 居住（出身）地分布

(1) 名古屋市内分

	名古屋市												
	名東	天白	緑	千種	昭和	守山	瑞穂	中村	中川	南	港	中	東
メイトウ・ワークス	21					1			1				1
天白ワークス	2	11	4		2	1			1	1			
はまなす	17	1		1	2		1						
レジデンス日進 (施設入所支援)	8	8	5	1		2	1	1	1	1		1	
上ノ山ホーム	5	7		1	3	1	1	1		2			
法人全体	53	27	9	3	7	5	3	2	3	4		1	1

(2) 名古屋市外分

	名古屋市外						小計	市内小計	合計
	日進	春日井	尾張旭	瀬戸	江南	他県内			
メイトウ・ワークス	2					2	4	24	28
天白ワークス	7						7	22	29
はまなす								22	22
レジデンス日進 (施設入所支援)	6		1	1	1	2	11	29	40
上ノ山ホーム	1	1	1	1		2	6	21	27
法人全体	16	1	2	2	1	6	28	118	146

3. 障害の程度：障害支援区分認定結果

	1		2		3		4		5		6		計（平均）	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	今年度	前年度
メイトウ・ワークス			2		2	2	4	5	3	2	6	2	28 (4.4)	28 (4.3)
天白ワークス					2	1	7	1	3	5	5	5	29 (4.9)	29 (4.9)
はまなす					1		5	1	8		3	4	22 (5.0)	21 (5.0)
レジデンス日進 (施設入所支援)							3	1	7	5	11	13	40 (5.5)	40 (5.6)
上ノ山ホーム			1		5	1	7	1	4	6	1	1	27 (4.2)	27 (4.1)
法人全体			3		10	4	26	9	25	18	26	25	146 (4.8)	145 (4.8)
			3		14		35		43		51			

4. 障害の種別

(1) 主たる障害

	広汎性発達障害		ダウン症		知的障害		重症心身		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	10	5	1	3	7	2			28
天白ワークス	8	5	4	1	5	6			29
はまなす	9	2	4	1	4	1		1	22
レジデンス日進 (施設入所支援)	14	7	1	2	5	8	1	2	40
上ノ山ホーム	8	5	2		8	4			27
法人全体	49	24	12	7	29	21	1	3	146
	73		19		50		4		

(2) 重複障害

	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		延計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス		1			1			2	1		5
天白ワークス	1	2			1						4
はまなす		2									2
レジデンス日進 (施設入所支援)	2	3				1			1		7
上ノ山ホーム					1	1			1		3
法人全体	3	8			3	2		2	3		21
	11				5		2		3		

5. 利用期間

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス			1				3	1		2	13	8	28
天白ワークス				1			1		6	2	10	9	29
はまなす	1		1				2	2	2		11	3	22
レジデンス日進 (施設入所支援)	1		1		1	2		2	5	6	13	9	40
上ノ山ホーム	2				1			1	15	8			27
法人全体	4		3	1	2	2	6	6	28	18	47	29	146
	4		4		4		12		46		76		

6. 月別平均利用者数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	30	21.7	22.2	16.3	22.3	20.9	21.3
天白ワークス	35	27.4	27.2	20.0	26.5	24.2	24.3
はまなす	25	20.2	19.3	13.5	17.5	17.0	18.6
レジデンス日進 (施設入所支援)	40	38.2	37.4	34.3	37.9	37.1	37.5
上ノ山ホーム	27	26.0	25.8	26.0	25.9	25.5	25.4

10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度平均	前年度平均	
22.8	22.2	22.0	21.9	22.2	22.2	21.5	21.9	メイトウW
25.3	26.1	26.1	26.9	27.1	27.4	25.7	27.5	天白W
20.1	19.8	19.4	19.2	19.5	18.6	18.5	19.5	はまなす
38.2	38.3	37.2	36.5	38.8	38.7	37.6	37.1	レジデンス
25.5	25.5	24.5	24.8	26.3	26.4	25.6	25.8	上ノ山H

7. 短期入所事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
126	94	69	110	82	88	97	87	89	87	99	99	1,127

8. 日中一時支援事業利用者数：レジデンス日進・定員7名

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
11	7	6	8	8	8	8	8	9	7	6	10	96

* 日中一時契約市町村：名古屋市・日進市

9. 通所施設時間延長サービス利用者数 (16:00~17:00)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス						
天白ワークス		1				1
はまなす	23	17	12	14	10	13
法人全体	23	18	12	14	10	14

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
						0	メイトウ・ワークス
1				2		5	天白ワークス
13	12	14	14	13	15	170	はまなす
14	12	14	14	15	15	175	法人全体

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの提供を目指してきました。

人の暮らしの質を考える場合、やはり日中の過ごし方の重要性は第一と言えます。施策や制度の動向を踏まえながら、利用者のニーズに基づくサービス提供の姿勢を保ち、多様な選択肢をご提案していきたいと考えています。

メイトウ・ワークス

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、再開できるプログラムや行事をおこなった。外出行事は自粛したため、施設内での活動が中心ではあったが、出来るだけ日常生活に近い生活を送っていただけるように心がけた。

年度の後半はコミュニティーセンター祭りへの参加、めいとう福祉まつりへの参加など、社会の動きに合わせて、対外的な活動へも参加した。

施設環境の改善においては、利用者がストレスなく過ごせる環境を目指して、生活空間の配置と機能性を考慮して環境整備をおこなった。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位: 円)

	陶芸	縫製	下請他	計
令和4年度	213,965	0	894,505	1,108,470
令和3年度	188,800	0	1,016,282	1,205,082

(2) 作業内容

● 下請け作業

部品の組み立て、袋詰め、仕分け作業など、作業工程を細分化し、利用者の特性に合わせた作業を提供できるようにしている。

● 陶芸作業

動物はし置き、季節の人形、マグネットなどの小物陶器を製作。土に触れる、型抜き、成形、素焼きの絵付け、焼成後の仕上げなどをおこなった。イベントでの販売、ネットでの販売に加え、愛知牧場での販売もおこなった。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	1,099,000 円	51,116 円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

● 創作活動

陶芸の創作活動は、上ノ山の陶芸サイトでおこなった。

● 全体行事

- ・花見
- ・グループランチ
- ・七夕飾り
- ・めいとうアート展

- ・忘年会
- ・節分レク

(5) 地域交流

- ・コミュニティーセンターまつり参加
- ・めいとう福祉まつり

(6) 地域貢献

- ・駐車場を南自動車図書館（あおぞら号）の巡回ポイントとして利用していただいた。
- ・大学生の介護体験実習を受け入れた。

(7) 研修

● 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
R4.7.27	オンライン	障害者虐待防止研修	1
R4.8.17	オンライン	改正個人情報保護法に向けた情報漏洩対策	1
R4.12.1~2	名古屋市総合社会福祉会館	強度行動障害者支援者養成研修	1
R5.1.31	オンライン	福祉サービス苦情相談事業者研修	1

● 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
R4.4.1	公益通報者保護に関する規定	公益通報者保護について	全職員
R4.4.18	支援会議	支援内容検討	全職員
R4.6.7	2階作業室環境改善	環境改善	全職員
R4.6.28	コロナ感染対応	感染対応	全職員
R4.7.22	工賃会議	工賃・賞与額検討	全職員
R4.7.28	支援会議	支援内容検討	全職員
R4.7.29	虐待防止研修	虐待防止	全職員
R4.8.18	防災会議	防災会議	全職員

R4.11.25	工賃会議	工賃・賞与額検討	全職員
R4.12.6	強度行動障害者支援者養成研修	強度行動障害者支援	全職員
R5.2.2	福祉サービス苦情相談	苦情相談	全職員
R5.2.28	防災会議	防災会議	全職員
R5.3.3	事業計画	令和5年度事業計画確認	全職員
毎月 第4月曜日	虐待防止マネジメント会議	・チェックリスト確認 ・ヒヤリ・ハット確認 ・身体拘束適正化確認	全職員

天白ワークス

令和4年度も新型コロナウイルス感染予防のため、レクリエーション活動および行事については、内容の変更または中止とした。活動についても職員と利用者のみでおこなった。

自主製品（焼き菓子・陶芸）や下請け作業・自立課題・レクリエーション活動用の創作など、それぞれの利用者に合わせながら、活動をおこなうことができた。

中止となったバザーもあったが、せともの祭りやあじさいコンサートで、久しぶりに販売することができた。

陶芸や絵画の作品作りの意欲につながるように、各種の展覧会にも積極的に参加した。

毎月のレクリエーション活動（創作・ゲーム・散歩など）も定着し、利用者にとっての楽しみの一つになった。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況（単位：円）

	陶芸	焼き菓子	下請	雑収益	計
令和4年度	117,300	868,441	516,449	183,845	1,686,035
令和3年度	152,994	877,785	455,505	75,162	1,561,446

(2) 作業内容

● 陶芸

食器（コップ・皿）、置き物、マグネットなどを製作。販売元の減少により、成形、水拭き、絵付け・釉掛け、仕上げ作業は限られたものになった。

● 焼き菓子

クッキー・パウンドケーキなどの焼き菓子を手作りで製造し販売した。材料の準備、

計量、生地づくり、成形、袋詰め、包装の工程を、利用者が役割分担した。

● 下請け

部品の組み立て、製品の箱詰めなど、工程の分かりやすい作業をおこなった。作業工程を細分化・構造化することで、多くの利用者が参加した。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	1,064,200 円	41,408 円/年

別館・製菓作業の利用者を中心に評価給を上乗せしている。

(4) レクリエーションプログラム・イベント

イベントは新型コロナウイルス感染予防のため、内容変更での実施か中止とした。

● 創作活動

1階作業室で週1回創作活動を提供した。また季節行事に合わせての創作もおこなった。

● 音楽療法

令和4年度は中止とした。

● クリスマス会

各作業室でゲーム大会を実施。昼食は外注のお弁当とした。

● レクリエーション活動

毎月レクリエーション活動(創作・ゲーム・散歩)を企画し、おこなった。

● コーヒータイム

各作業室で月1回または2回実施。

別館では、その時間を利用して、利用者のミーティングをおこなった。

(5) 地域交流

- ・天白区かおの見えるアート展

w e b 公開や地域の中での展示に参加した。

- ・その他の作品展の展示にも参加した。

- ・あじさいコンサート、せともの祭りで販売した。

(6) 地域貢献

教職課程履修大学生の介護体験実習受入れをおこなった。

(7) 研修

● 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
6月 27,28日	愛知県社会福祉会館	強度行動障害者支援者養成研修 基礎研修	1
7月 27日	オンライン開催	「虐待防止研修」自閉症の方のパニックをゼロにする12の方法について	1
1月 15, 16日	鳥見作業所	強度行動障害支援者養成研修 実践研修	1

● 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4月 26日	虐待防止委員会の報告	虐待防止・身体拘束適正化委員会の規程について	9
月に1回	レクリエーション活動企画	毎月レクリエーション企画の確認	8
5月 17日	プログラム会議	1階作業室プログラムについて	8
5月 20日	プログラム会議	ロト作業プログラムについて	8
5月 24日	プログラム会議	2階作業室プログラムについて	7
5月 31日	プログラム会議	別館プログラムについて	8
5月 27日	健康診断について	健康診断の流れの確認	7
6月 7日	虐待マネジメント会議	法人虐待防止委員会の報告 利用者の選び方および制止の記録について	8
8月 計6回 9月 計6回	モニタリング会議	全利用者のモニタリングの確認	8
10月 5日	ケース会議	現状の確認と今後の対応について	6
10月 12日	ケース会議	怪我後の復帰に対する動きや対応の確認	7
10月 12日	調整会議	個別のケースの対応についてレジデンス日進職員、相談の職員も同席し、今後の対応についての確認および検討	9
7月 26日 11月 24日	工賃会議	賞与時期に伴い評価給のある利用者の評価についての見直し	7
8月 30日 9月 1日 3月 23, 24日	防災会議	防災訓練の実施計画および反省会議	8

10月5日	法人内研修報告	施設環境コーディネーター研修報告	8
2月計11回 3月計7回	個別支援計画会議	全利用者の個別支援計画書を確認および見直し	8

はまなす

令和4年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、レクリエーション活動および行事については、内容の変更または中止とした。行事や活動についても職員と利用者のみでおこなった。午前は生産活動を、午後はレクリエーション活動を主体とした活動をおこなった。

生産活動では、働くことで、社会とのつながりを大切にし、社会貢献を目指せるよう支援した。作業を工程ごとに分けておこない、難しい作業も治具を使用したり、タイマーを使用したり、分かりやすく内容を提示し取り組むことができた。

レクリエーション活動では、芸術、音楽、スポーツを通して利用者が自己表現できるものを見つけていき、生き生きと生活ができるよう支援した。活動内容を曜日によって決めるため、見通しを持って取り組むことができた。

毎週木曜日午後の創作活動では、はまなすのロビーに飾る大きな「貼り絵」を制作した。テーマは、お雛様やこいのぼり、七夕、ハロウィン、クリスマスなどのイベントや時季に合ったものを制作した。素晴らしい作品ができるようになり、やりがいを持って取り組むことができた。

毎週金曜日午後の身体活動では、無理なく、楽しく身体を動かすことで、健康にも配慮した活動となるよう、バランスボールやマットを使用しての軽運動や、ビーチボールや大きな風船を使用して、バレーボール、ウォーキングをおこなった。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	下 請	雑収益	計
令和4年度	124,600	0	124,600
令和3年度	108,530	0	108,530

(2) 作業内容

ナット・ワッシャーの袋詰め、ボルトのナット止めなど。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
生活介護	118,000 円	6,378 円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

令和 4 年度のレクリエーションプログラム・イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や規模を縮小しておこなった。

- 散歩

公用車を使用して近隣の公園や公共施設へ出かけ、散歩、散策をおこなった。気分転換、健康増進、一般の方々との交流などを目的に、午前、午後とメンバーを入れ替えて実施した。

- 通常のレクリエーション

毎日、午後の時間帯に月曜日陶芸、火曜日足湯、水曜日カラオケ、木曜日創作、金曜日身体活動をおこなった。利用者の参加の定着ができた。

- ソフトボール大会

春の大会 4 月 20 日（水）に参加した。

秋の大会 10 月 5 日（水）に参加した。

- 夏まつり

8 月 26 日（金）午後から、音楽を楽しみながらかき氷、たこ焼きを食べた。

- クリスマス会

12 月 23 日（金）午後から、音楽活動に、クリスマスイベントを加えて楽しんだ。

- ティータイム

毎月、第三金曜日の午後 2 時よりティータイムをおこなった。

(5) 地域貢献

年 2 回の高針台一丁目町内会一斉清掃（5 月、12 月）に参加し、8 月極楽学区盆踊り大会協賛金協力した。10 月秋の祭礼「たかほくまつり」へバザー品を提供協力は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

また、区内中学生の福祉体験、職場体験などの受入れや、名古屋市新規採用職員研修は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。高校生の夏休みサマーボランティアの受け入れや大学からの教員免許介護体験学生実習、社会福祉士相談援助実習はおこなうことができた。

(6) 研修

- 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
8 月 17 日	オンライン開催	改正個人情報保護法に関する研修	1 名

- 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4月8日 9月21日	ソフトボール大会について	ソフトボール大会の流れについて	8名
8月22日	健康診断について	健康診断の流れについて	8名
8月31日 3月22日	防災会議	大規模地震に備え防災意識の向上と防災体制の強化を図る	8名
10月12日	フットベースボール大会について	フットベースボール大会の流れについて	8名
5月23日 8月17日	虐待防止マネジメント会議	虐待とは何かを伝え職員間で確認し合う チェックリストを集計して確認する 身体拘束適正化の取り組みについて検討する	9名
毎週水曜日	個別支援会議	モニタリングと個別支援計画の見直しをする会議	8名
随時	法人内研修報告	リーダー研修 環境コーディネーター研修 虐待防止マネジメント会議	8名

レジデンス日進

前年度同様に新型コロナウイルス感染対応として、3密回避、外出の自粛、マスクの着用、体温測定、活動場所の消毒、換気などに努めた。また、日進市、ふくしまファミリー内科福嶋俊郎医師の協力を得て利用者は2回のワクチン接種を実施した。

生産活動については、コロナ禍においても一定の仕事量を確保することができ、安定的に下請け作業に取り組むことができた。

下請け作業の提供が難しい利用者に関しては、ネット販売による書籍を発送する業務を株式会社アドムから委託を受けており、利用者が郵便局に持っていく等の取り組みを作業として実施した。

行動障害のある自閉症の利用者への「構造化」対応の手法として、落ち着いて（安心して）、生き生きと、楽しく、人と関わることのできる環境にすること（生活の質の向上）を目的として取り入れた「自立課題」は、導入を計画し、実践を始めて4年が経過した。課題への取り組みの質・量に関しては個々に違いがあるが、午前は「自立課題」午後は「散歩」とバランスの取れた日課を安定して提供することができた。

「自立課題」は、自閉症に限定されることなく、知的に障害のある人にも有効な手法であることから、自閉症以外の利用者への提供も継続しておこなった。「主体的な取り組

み」をテーマに実施しているが、自ら課題を選んでおこなう利用者と、職員とのやりとりとして成立する利用者との違いが顕著となった。

作業による売上については、毎日生産活動に参加している利用者には、その取り組みを数値で評価し、毎月工賃として支給した。また、自立課題やレクリエーションが中心の利用者には、賞与という名称で年2回支給した。

生活介護事業

(1) 作業種目と年間売上状況 (単位：円)

	下請他	書籍発送	雑収益	計
令和4年度	1,275,589	188,100	302,255	1,765,944
令和3年度	1,590,576	575,048	210,249	2,375,873

(2) 作業内容

- ・施設近隣の会社からの下請け作業（自動車部品の組立て、ガス器具の部品組立、水洗トイレの部品組立など）を主な作業（生産活動）として提供した。
- ・書籍を販売、発送した。

(3) 利用者給与支給状況 (※工賃規程の定めによる)

	工賃総額	一人当たり平均 (賞与含)
主たる取り組み (生産活動)	1,487,600 円	124,000 円/年
主たる取り組み (自立課題)	490,000 円	20,000 円/年

(4) レクリエーションプログラム・イベント

レクリエーションプログラム、特にイベントについては、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対応のため、中止および大幅縮小して実施した。

● 季節行事

➤ お花見

レジデンス日進前の桜を鑑賞した。(近隣の喫茶店「あぜりあ」にお弁当を注文)

➤ はるまつり

お弁当の提供のみとした。家族会の参加は中止とした。

➤ 流しそうめん

七夕を意識して、昼食にそうめんを味わった。

➤ なつまつり

花火は、ナイトケア事業の余暇支援としての位置付け。午後からスイカ割りとかき氷、夕食後は花火を楽しんだ。学童保育所からの希望により、感染予防をおこない参加してもらった。

➤ バスハイク

感染状況が落ち着いた 10 月、11 月に実施した。

➤ あきまつり

午前中のみ規模を縮小して実施した。家族会、地域の方々の参加は中止とした。

➤ クリスマス会

日進市の登録ボランティア、家族会の参加は見合わせる形で実施した。

➤ 初詣

近隣の神社に出掛けた。

➤ 節分

職員が鬼となって豆まきをおこなった。

● スポーツイベント

➤ ソフトボール大会

春季大会、秋季大会とも参加。

➤ ゴルフ観戦

開催地が変更となり不参加。

● その他

➤ 和太鼓

毎月、第 2 金曜日に言語聴覚士でもあり、障害児・者に和太鼓の指導をされている先生に来ていただき、太鼓の音、響きを体感することができた。昨年度に引き続き、パーテーション等の活用、1 名ずつ叩くといったコロナウイルス対応に努めた。

➤ ダンスレッスン

毎月、第 3 水曜日にチアダンス、ハグダンス等のインストラクターで地元大学、中学校、保育園等で指導されている方に来ていただき、利用者に合った、人とのつながりを大切にしながら緩やかなダンスをおこなった。利用者間の距離を空ける等コロナウイルス対応に努めた。

➤ 音楽療法

講師判断により中止となった。

➤ ドッグセラピー

飼い主の方との協議により中止とした。

(5) 地域交流

コロナウイルス感染対応のため、大幅に自粛した。

(6) 地域貢献

コロナウイルス感染対応のため、大幅に自粛した。

(7) 研修

● 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
5/28、 29	メディアス体育館ちた	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	1
7/26	ZOOM 会議室	医療従事者研修 強度行動障害の特性と支援	1
8/19	ZOOM 会議室	愛知県サービス管理責任者等更新研修	1
8/21、 22	社会福祉法人よつ葉の 会 鳥見作業所	強度行動障害支援者養成研修講座 実践研修	1
10/27	豊田市民文化会館	安全運転管理者講習	1
10/14	リモート研修	成年後見制度を知る・支援者ができること ～ひとり一人を支えるために～	1
12/13	愛知県自治センター	2022 年度愛知県障害者虐待防止・権利擁護 研修	1
1/19	名東保健センター栄養 指導室	野菜摂取の必要性について	1
2/14	日進市民会館小ホール	身近にあるかも虐待の芽 ～困っている人のサインに気づくには～	4

● 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/16	職員全体 ミーティング	虐待防止マネジメント会議報告（障害者虐待防 止・身体拘束適正化委員会規程の確認）、個別支援 計画、マルトリートメント、ケース検討	30
5/21	職員全体 ミーティング	虐待防止マネジメント会議、ご家族からの苦情、 服薬管理、マルトリートメント、ケース検討	32
7/16	職員全体 ミーティング	コロナウイルス感染拡大、手当の支給、夜間支援 （身体拘束の禁止）、マルトリートメント（気づき のリーフレット：呼称・子ども扱い・勝手な支 援）、ケース検討	33
8/20	職員全体 ミーティング	虐待防止マネジメント会議報告（扉の施錠の検 証、施錠が「拘束」や「虐待」に発展してない か？）介護職員等ベースアップ等支援加算、午後 の日中活動時間の業務、レッドゾーンでの支援、 マルトリートメント、ケース検討	35

10/15	職員全体 ミーティング	諸規程の変更、退職、昼食後からの入浴支援、虐待防止・身体拘束の禁止に向けた DVD の視聴について、マルトリートメント、バスハイク、ケース検討	30
11/19	職員全体 ミーティング	ユニット業務のマニュアル化、マナー、マルトリートメント（手をつなぐ行為が利用者の動きを制限・抑制してしまう可能性を考える）、ケース検討	29
12/17	職員全体 ミーティング	ユニット業務分担、最近報道されている虐待案件、冬季賞与マルトリートメント、ケース検討	31
1/21	職員全体 ミーティング	事故対応・苦情対応、職員間の連携、マルトリートメント、ケース検討	26
2/18	職員全体 ミーティング	イベント担当、職員体制、午後散歩、マスク着用、マルトリートメント、ケース検討	32
3/18	職員全体 ミーティング	職員体制、夜間業務、虐待防止マネジメント会議、事業所間連携研修、マルトリートメント、ケース検討	31

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/13	日中担当者会議	各ターミナルの活動状況報告、ユニット担当者会議報告、ケース検討	4
5/25	日中担当者会議	デイサービス 1F 環境整備（構造化）、コーヒータム、各ターミナルの活動状況報告、ケース検討	4
6/9	日中担当者会議	デイサービス 1F の配置等、各ターミナルの活動状況報告、ケース検討	4
7/14	日中担当者会議	作業棟トークンの変更、課題の使用状況、各ターミナルの活動状況報告、ケース検討	4
1/16	日中担当者会議	ユニット会議報告、各ターミナルの活動状況報告、ケース検討	4
2/14	日中担当者会議	新しい作業について、各ターミナルの活動状況報告、ケース検討	4
3/15	日中担当者会議	ウォーキング、バス散歩、各ターミナルの活動状況報告、ケース検討	6

* 参 考

R4 年度	メイトウ・ワークス	天 白 ワークス	はまなす	レジデンス 日 進	法人全体
陶 芸	213,965	117,300			331,265
焼き菓子		868,441			868,441
下請	894,505	516,449	124,600	1,275,589	2,811,143
書籍発送				188,100	188,100
雑収益		183,845		302,255	486,100
計	1,108,470	1,686,035	124,600	1,765,944	4,685,049

R 3 年度	1,205,082	1,561,446	108,530	2,375,873	5,250,931
R 2 年度	1,476,008	2,286,670	112,354	2,960,823	6,835,855
R 1 年度	1,536,469	2,756,995	138,040	2,979,147	7,410,651

ナイトケア事業

名東福社会では、レジデンス日進を生活支援の拠点として、グループホームを展開しています。レジデンス日進の4つのユニットに加えて、上ノ山ホームもユニットとして考え、ナイトケアのノウハウを活かすことで、安定したサービス提供を図ります。

今後、ナイトケア事業への期待は高まるばかりですので、健康で快適な生活の場を提供できる支援体制を創造していきます。

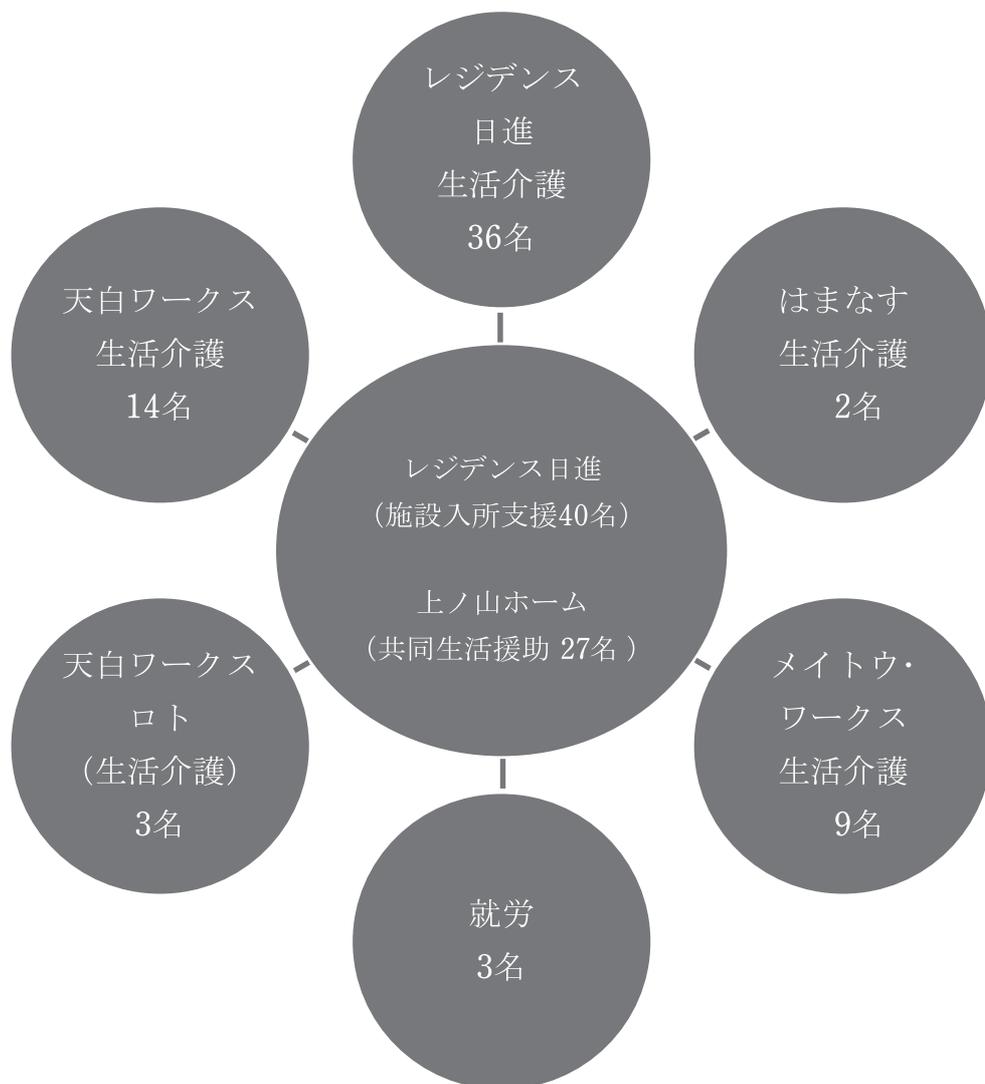
1. 新型コロナウイルス感染対応

前年度同様に外出の自粛、帰省の自粛、3密回避、マスクの着用、体温測定、活動場所の消毒、換気などに努めた。また、日進市、ふくしまファミリー内科福嶋俊郎医師の協力を得て利用者は2回のワクチン接種をおこなった。

感染者発生時には、防護服、フェイスシールド、防護キャップ等を着用し、感染者および濃厚接触者の隔離等、感染症対応マニュアルに従った対応を実施した。

2. 生活の場と日中活動の場の連携

施設入所支援においても、他事業所を利用できるよう支援することがレジデンス日進の大きな特色である。利用者の方々に安心して生活していただくためには、日中活動事業所との連携が不可欠であることから、利用者個々の様子・健康面等での伝達事項を積極的に共有するよう努めた。



(※上図は令和4年度)

3. ナイトケア事業間の連携

施設入所支援および共同生活援助を「ナイトケア事業」として位置づけ、職員配置、勤務割り等を一体化して管理体制を維持することができた。また、法人の通所事業所の職員による夕方からの、生活支援（夕食・入浴など）を中心としたバックアップについても、継続して協力を得ることができた。

4. ユニット単位の支援

レジデンス日進（施設入所支援）は1ユニット10名程度のユニット単位での生活支援を基盤とし、上ノ山ホームも同様に1住居（ユニット）9名での生活支援を基盤として、完全個室で個別対応による利用者の生活の安定を図った。

5. 短期入所利用者受け入れの充実

地域を中心とした短期入所利用を積極的に受け入れている。特に他事業所で受け入れが困難と判断され利用を解除された男性で、行動障害のある自閉症者の利用希望が高く、ユニット単位による支援の特性を活かし、個別に対応を調整する形で受け入れている。

レジデンス日進（施設入所支援）の特徴として、近年は行動障害のある自閉症者以外の利用申し込みはほとんどみられない。

6. 健康管理

レジデンス日進および上ノ山ホームの、ナイトケア事業所における健康管理の重要性を踏まえ、看護師が中心となり、現場支援員と連携を図りながら取り組んでいる。

年2回の定期健康診断、個々の状態により毎日・毎週の体重・血圧測定、訪問歯科検診、新型コロナワクチン接種（2回）、インフルエンザ予防接種を実施した。

生活習慣病予防対策として、対象利用者は、毎朝（休日は除く）および午後からの時間を利用して30分間のウォーキングを実施した。

感染症対策（発症時の対応マニュアル整備）、通院支援として体調不良の利用者の早めの医療機関への受診、精神科、歯科、眼科、皮膚科への受診も継続支援できた。往診（月2回）を含め嘱託医を中心とした地域医療機関との連携に留意した。

利用者個別の「体調シート」を作成し、利用者の毎日の体調および傷や怪我の位置（入浴時にチェック）、状況を記入し、状態の把握・共有を図り、適切な支援・介護に努めた。

また、夜間帯には、緊急対応マニュアル（てんかん発作時の個別対応シート含む）を各ユニットに設置し、緊急時には6名の職員が連携することで、より早く対応できるよう努めた。

7. 防災対策

専門業者による消防設備点検、災害時用の備蓄（7日分）、緊急マニュアルの整備、夜間想定を中心とした避難誘導訓練をおこなった。

8. 金銭等の管理

利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨としておこなった。また、年金および現金管理をしている利用者に対しては、行政等の手続きの代行、年金管理を家族・後見人等が担っている利用者に対しては、預かった現金の管理をおこなった。

9. 季節行事

新型コロナウイルス感染対応のため、中止、および大幅に縮小して実施した。

10. 研修

● 外部研修

実施日	開催場所	内容等	参加人数
5/28、 29	メディアス体育館ちた	強度行動障害支援者養成研修講座 基礎研修	1
7/26	ZOOM 会議室	医療従事者研修 強度行動障害の特性と支援	1
8/19	ZOOM 会議室	愛知県サービス管理責任者等更新研修	1
8/21、 22	社会福祉法人よつ葉の 会 鳥見作業所	強度行動障害支援者養成研修講座 実践研修	1
10/27	豊田市民文化会館	安全運転管理者講習	1
10/14	リモート研修	成年後見制度を知る・支援者ができること ～ひとり一人を支えるために～	1
12/13	愛知県自治センター	2022年度愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修	1
1/19	名東保健センター栄養 指導室	野菜摂取の必要性について	1
2/14	日進市民会館小ホール	身近にあるかも虐待の芽 ～困っている人のサインに気づくには～	4

● 事業所内職員研修および会議

実施日	テーマ	内容等	参加人数
-----	-----	-----	------

4/16	職員全体 ミーティング	虐待防止マネジメント会議報告（障害者虐待防止・身体拘束適正化委員会規程の確認）、個別支援計画、マルトリートメント、ケース検討	30
5/21	職員全体 ミーティング	虐待防止マネジメント会議、ご家族からの苦情、服薬管理、マルトリートメント、ケース検討	32
7/16	職員全体 ミーティング	コロナウイルス感染拡大、手当の支給、夜間支援（身体拘束の禁止）、マルトリートメント（気づきのリーフレット：呼称・子ども扱い・勝手な支援）、ケース検討	33
8/20	職員全体 ミーティング	虐待防止マネジメント会議報告（扉の施錠の検証、施錠が「拘束」や「虐待」に発展していないか？）介護職員等ベースアップ等支援加算、午後の日中活動時間の業務、レッドゾーンでの支援、マルトリートメント、ケース検討	35
10/15	職員全体 ミーティング	諸規程の変更、退職、昼食後からの入浴支援、虐待防止・身体拘束の禁止に向けたDVDの視聴について、マルトリートメント、バスハイク、ケース検討	30
11/19	職員全体 ミーティング	ユニット業務のマニュアル化、マナー、マルトリートメント（手をつなぐ行為が利用者の動きを制限・抑制してしまう可能性を考える）、ケース検討	29
12/17	職員全体 ミーティング	ユニット業務分担、最近報道されている虐待案件、冬季賞与マルトリートメント、ケース検討	31
1/21	職員全体 ミーティング	事故対応・苦情対応、職員間の連携、マルトリートメント、ケース検討	26
2/18	職員全体 ミーティング	イベント担当、職員体制、午後散歩、マスク着用、マルトリートメント、ケース検討	32
3/18	職員全体 ミーティング	職員体制、夜間業務、虐待防止マネジメント会議、事業所間連携研修、マルトリートメント、ケース検討	31

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/7	ユニット担当者会議	個別支援計画、通院時コミュニケーション事業、生活環境、ケース検討	10
4/21	ユニット担当者会議	個別支援計画、服薬管理、ケース検討	10
5/19	ユニット担当者会議	相手に話を聞いてもらう注意点、家族会定例会への参加、ご家族からの苦情、報告・記録、新規採用職員、生活環境、ケース検討	10
6/2	ユニット担当者会議	賞与原資、家族会定例会への参加、ケース検討	10

7/7	ユニット担当者会議	新型コロナウイルス感染拡大、個別支援計画の追加、職員に対する不適切なかかわり、ユニット担当者、レジデンス日進・上ノ山ホームが目指すもの、ケース検討	9
7/21	ユニット担当者会議	新型コロナウイルスの急激な感染拡大、会議文書・資料の取り扱い、トイレの詰まり、イベント、ケース検討	9
8/4	ユニット担当者会議	第2回虐待防止委員会の開催に向けて、レッドゾーンでの支援、午後の日中活動時間帯の業務、節約、ケース検討	9
8/18	ユニット担当者会議	介護職員等ベースアップ等支援加算、給食員会より、職員が守るべき施設の決め事・約束事、シフト変更、第2回虐待防止委員会の開催に向けて、ケース検討	9
9/1	ユニット担当者会議	各ユニットの問題、内部研修、職員が守るべき施設の決め事・約束事、来訪者の報告、ケース検討	9
10/6	ユニット担当者会議	虐待防止について（やまゆり園とレジデンス日進の違い）、ケース検討	9
10/20	ユニット担当者会議	男性職員の夜間業務、個別支援計画の見直し、昼食後からの入浴支援、ケース検討	9
11/17	ユニット担当者会議	ユニット業務のマニュアル、欠員補充、歩行介助（手をつなぐ行為が利用者の動きを制限・抑制してしまう可能性を考える）、マナー、家族会定例会への参加、連絡事項、ケース検討	9
12/15	ユニット担当者会議	ユニット業務分担、ユニット担当者会議・職員全体ミーティングの位置付け、利用者からのクレーム、ケース検討	9
1/5	ユニット担当者会議	事故報告、ユニット担当者、朝・帰りの打ち合わせ、生活環境、ケース検討	8
1/19	ユニット担当者会議	緊急対応の件、職員間の連携（報告・連絡・相談）、女性利用者の午後からの入浴、ケース検討	8
2/2	ユニット担当者会議	パンの提供、ご家族からの苦情、作業棟の午後散歩、利用者名簿、家族会参加、研修参加、ケース検討	8
2/16	ユニット担当者会議	パンの提供、車いす対応、作業棟の午後散歩、雨天時の移動、利用者のマスク着用、イベント等の感想文書、ケース検討	8

3/2	ユニット担当者会議	ホームの夜間業務、デイサービス 1F 作業、オムツ使用、短期入所新規利用者、避難訓練、ケース検討	8
3/16	ユニット担当者会議	夜間業務、新規職員採用、訪問看護、法人間連携研修、ケース検討	8

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/7	虐待防止マネジメント会議	虐待防止マネジメント会議の取り組みについて	10
4/21	虐待防止マネジメント会議	身体拘束適正化の取り組みについて検討をおこなう	10
6/2	虐待防止マネジメント会議	Dユニット扉の施錠の検証	10
7/21	虐待防止マネジメント会議	委員会に参加する当事者をどのように選ぶのか？	10
8/18	虐待防止マネジメント会議	当事者参加決定会議の報告	3
12/1	虐待防止マネジメント会議	利用者の苦情から虐待を考える	9
1/5	虐待防止マネジメント会議	ご家族からの苦情への対応について	9

相談支援事業

名東福祉会は発足当初から、療育支援事業等を通じて、地域にお住まいの障害のある方々の生活を支える取り組みにも力を入れてきました。当事者の意向に沿った地域生活支援の重要性は増すばかりですし、そのためのネットワークの構築は必須です。

平成 17 年に名東区で地域生活支援センターを開設、地域にお住まいの方々の相談支援を開始し、平成 26 年には名古屋市より名東区障害者基幹相談支援センターの事業を受託、総合的な相談や地域づくりといった、地域生活支援の拠点機能を担ってきました。

現在、基幹相談支援センターの委託業務は終了しましたが、平成 26 年よりはまなすに併設した指定特定相談支援事業所にて計画相談支援の提供をおこなっており、引き続き地域に根差した相談支援に取り組んでいます。

指定相談事業所 はまなす

令和4年度は、新規での契約は7件となった。

新規契約者の内訳としては、精神障害者4名・障害児（発達障害含）3名となっており、引き続き精神障害者や発達障害児の相談が多くなっている。

契約者数は、前年度の151名から（契約解除4名）3名増え、令和5年3月31日現在で154名となっている。

前年度より取り組んでいる相談員一人当たり担当件数の平均化に関しては、概ね終了している。

月1回の自立支援連絡協議会（事務局会議）に積極的に参加することによって、他の相談支援事業所と交流したり、地域における諸課題等を共有したりすることができた。

引き続き週1回の事業所内ミーティングを実施し、困難ケースにおける具体的な処遇方針や改善方策、地域における社会資源の状況、保健・医療・福祉に関する諸制度について、また苦情があった場合はその内容・改善方針について、等様々な事項について話し合い、実際の支援に役立てることができた。

1. 契約者の内訳

【居 所】

	名古屋市	日進市	尾張旭市	瀬戸市	北名古屋市	計
人数	134	10	2	2	1	
	春日井市	江南市	一宮市	愛西市	長久手市	
人数	1	1	1	1	1	154

(名古屋市の内訳)

	名東区	昭和区	天白区	守山区	緑区	千種区	瑞穂区	中村区	計
人数	95	4	9	7	8	4	2	1	
	北区	西区	東区	南区	港区	中区	熱田区	中川区	
人数	0	0	0	2	0	1	0	1	134

(住まい別)

	施設入所	グループホーム	一人暮らし	計
人数	36	30	9	
	家族と同居	有料老人ホーム	療養介護	
人数	76	2	1	154

【利用サービス（重複利用あり）】

	施設入所	療養介護	共同生活援助（GH）	短期入所
人数	36	1	30	37
	生活介護	就労継続 A 型	就労継続 B 型	就労移行
人数	87	3	21	2
	就労定着	居宅介護	重度訪問介護	同行援護
人数	1	24	2	2
	移動支援	地域活動支援	放課後等デイサービス	行動援護
人数	54	10	13	0

【年齢・性別】

	児（～17歳）	者（18歳～）	計
男性	8	79	87
女性	5	62	67
計	13	141	154

【障害種別（重複障害あり）】

	身体	知的	精神	発達障害	難病
人数	15	109	28	9	0

2. 研修内容

① 自立支援連絡協議会（事務局会議）

*参加者数は10数名

【事務局：区福祉課、基幹センター 指定相談事業所】

- ・年6回（偶数月）は定例会（計画相談の状況 等）
- ・年6回（奇数月）は事例検討

実施日	開催場所	内容 等
4/15	zoom	・ 構成員の紹介 ・ 指定相談支援の状況 ・ 運営・調整会議の課題について
5/20	区役所	・ 部会報告 ・ 事例検討会
6/17	zoom	・ 市自立支援連絡会の状況 ・ 指定相談支援の状況 ・ 学校との連携について
7/19	区役所	・ 部会報告 ・ 事例検討会
8/19	zoom	・ 市自立支援連絡会の状況 ・ 指定相談支援の状況 ・ 事業所運営について

9/30		中止
10/21	zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・部会報告 ・東ブロック会議の状況について ・指定相談支援の状況
11/18	区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・部会報告 ・事例検討会
12/16	zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・部会報告 ・事業者連絡会の状況 ・指定相談支援の状況
1/20	区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・部会報告 ・事例検討会
2/17	zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・部会報告 ・地域課題について ・指定相談支援の状況
3/17	区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・部会報告 ・事例検討会

② 事業所内ミーティング（強化型体制Ⅳ）

*参加者数は相談員 2 名

実施日	テーマ	内容 等
4/7	苦情時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用の遅延に対する苦情 ・B型からGHへの苦情対応
4/15	地域での生活	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹分離と今後の生活について ・GH・単身を視野に居住地を探す
4/22	緊急時対応	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒で入所が決まっていた事業所が突然指定取り消しになった時の対応
4/28	引きこもりの方への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・母子二人暮らし、自宅に引きこもり受診拒否・訪問拒否・入院拒否をしている
5/6	就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就労B型に在籍している利用者が、本当は就労A型を希望している
5/13	新規依頼	<ul style="list-style-type: none"> ・「就労移行」事業所より新規依頼あり ・他区の相談事業所より移譲依頼あり
5/20	事例検討会の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・意向の違う本人と家族へのアプローチ ・相談員の役割について
5/27	実習生への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士現場実習生対応の打ち合わせ（倫理綱領、相談員の役割等）
6/3	未就学児への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業所との連携について ・保育園への見学、モニタリングについて
6/9	新規依頼	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知医大の福祉連携室より新規依頼あり ・本人、家族の状況・意向を確認
6/17	福祉に関する諸制度	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹センターと指定相談の役割分担について（指定相談が基幹化している状況 等）
6/24	障害児の不応行動	<ul style="list-style-type: none"> ・他児に対する他害の件 ・愛知法務少年支援センターへの相談・面談

7/8	研修の振り返り	・「地域包括ケアシステムの構築推進事業」「精神障害者の地域移行関係職員への研修」について
7/15	母子世帯への支援	・入院・手術予定の母と、サービスに繋がっていない障害者への支援について
7/22	サービス利用調整	・生活介護への入所にあたり、利用日数の調整・イベント時の対応について
7/29	支援会議の振り返り	・入院中の様子・体調等についての共有 ・退院後のサービス調整等について
8/5	引っ越しの支援	・書類関係、荷造り、退去日の調整、引っ越し業者との調整 等
8/12	コロナ禍の対応	・コロナ禍のため GH 待機が続く利用者の権利擁護、自己決定について
8/19	アパートの退去	・退去時の貸主・借主負担区分一覧より借主の善管注意義務違反に該当する可能性のあるものを確認
8/25	支援会議の振り返り	・学校、放デイ、子ども応援委員会、相談員が参加にて情報共有する
9/2	新規受け入れ	・3歳男児：6日初回面談あり ・小3男児：12月モニタリングより変更
9/8	GH入所者の近況	・GH入所3年目で概ね安定している様子 ・就労先の会社よりGHへ困り事の連絡あり
9/16	虐待疑い相談	・各支給決定自治体（3自治体）の福祉課へ連絡し、虐待疑い事案について経緯を説明
9/29	退院後のサービス調整	・10月より居宅家事援助と配食サービスを導入予定、B型・訪看の利用再開
10/7	一般就労の方の支援	・会社・養護学校・雇用支援センター・相談事業所による担当者会議（支援会議）を開催
10/13	退院後の生活	・R3.8月より入院しており、退院後の支援について担当者会議にて検討した
10/21	苦情への対応	・保護者より書類に関しての苦情あり ⇒未配布を指摘され、今後の対応を確認済み
10/28	支援会議の振り返り	・今後は障害者雇用支援センターが連絡・調整をおこなっていくことを確認
11/2	不登校児への対応	・子ども応援委員会、放デイ、学校等と情報共有しつつ、支援会議を開催して連携を強化していく
11/4	面談技術	・信頼関係の構築の仕方とは？ ・面談時における注意点とは？
11/11	福祉に関する諸制度	・一般就労している利用者の地活利用について
11/18	未契約者2名の近況	・①セルフプランにて継続中 ・②セルフプランにて「就労移行」を利用中
11/25	虐待案件への対応	・区役所、市役所への通報・情報共有済み ⇒今後は計画相談移譲へ向けての情報共有、および親族・身内の方への情報伝達
12/2	サービスに繋がらない方への対応	・本人より更新の意向を確認する ・現在は更新のみおこなっている状況

12/9	福祉に関する諸制度	・B型事業所における在宅支援への切り替えについて（手続き、流れ等の確認）
12/16	苦情への対応	・利用者姉よりヘルパーに対するクレームあり ⇒ヘルパー事業所へ伝え、改善を要請
12/23	新入学児への支援	・学校・児童発達支援事業所・幼稚園との連携、母の障害受容等について
12/28	父子世帯の支援	・父が救急搬送にて入院中のため、子である利用者の今後の支援について ⇒意思決定会議を開催し、本人の意思を確認
1/6	新入学児への支援	・現状：支援級か普通級かで迷っている ・今後：保護者の意向を尊重 放デイや学校との連携
1/12	新入学児への支援	・現状：小学校では支援級に所属する予定 ・今後：学校・子ども応援委員会・放デイ・保護者等と連携・情報共有していく
1/20		業務多忙につき中止
1/27	「就労移行」終了の方の支援	・現状：終了目前だが就職未定 ・今後：A型・B型→計画相談継続 一般就労→半年後から計画相談再開
2/3	虐待案件の情報	・区役所より情報提供の依頼あり ⇒GH内での状況、計画相談としての概要・経緯について説明する
2/10		業務多忙につき中止
2/17	外国在住の家族への支援	・ブラジル在住の弟を元父から日本に連れ戻すための支援について ⇒ブラジル総領事館との情報共有が必要
2/24	GHと保護者との関係構築	・膀胱炎での服薬対応を巡る行き違いがあったため、相談員が間に入り調整
3/3	相談員変更の状況	①セルフプラン提出済み（終了） ②後見人に要確認（保留中） ③保留中（B型は退所予定）
3/10	生活面の課題	・本人との面談にて、金銭面での課題あり ・権利擁護C等の利用を含めた支援を検討
3/17	R5年度の事業計画案	・重点目標：計画作成件数の目標値 等 ・地域活動：事務局会議への参加 等 ・職員構成：常勤かつ専従2名体制
3/24	発達障害児への支援	・中学生と高校生の兄弟の支援について ・学校の担任やSSW、放デイと連携を取り、進学・就職に向けて対応していく
3/31	利用者間の恋愛	・自由恋愛の権利があり制限はない ・社会人としてのマナーは伝え、支援者間での方向性や対応を確認する

③ 外部研修

実施日	テーマ	内容 等
7/1	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業において行われる精神障害者の地域移行関係職員に対する研修	<ul style="list-style-type: none"> ・「にも包括」について ・「障害特性と総論的理解～特性理解および具体的な支援方法①（統合失調症・気分障害）」 ・「特性理解および具体的な支援方法②（依存症・老年期・発達障害）」 ・精神障害ピアサポーターからのメッセージ ・「社会資源と連携・家族支援について」
7/25	ICT 活用による業務効率化研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT の効用 ・クラウド業務ツールの活用 ・演習・グループワーク ・『ICT は簡単』に導く取り組み ・効果を最大する「文化」の改革 ・質疑応答タイム
10/1~2	名古屋市アルコール依存症支援者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール依存について →各施策 アルコールによる精神・身体障害 依存症の看護・作業療法 アンガーマネジメント 治療に繋ぐための動機付け etc
12/21	「わたしたちに、できること。」～希死念慮について知ろう～	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍から考える自殺の問題 ・希死念慮の心理特徴 ・希死念慮を持つ人への対応 <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「希死念慮」を持つクライアントとの関わり方を学ぶことにより、それを各々の事業所に持ち帰り情報共有するとともに、各ケースの支援に活かしていく
1/27	医療知識研修「医療連携に必要な基礎知識」	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉事業所において、医療機関との橋渡しの際連携が不可欠となる ・利用者・医療機関との関わりの中で、円滑な連携をおこなえるよう共通言語としての基礎的な医療知識を学ぶ
2/13	相談支援技術研修「当事者との協働作業としてのアセスメント」	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク 1「枠組み外し」 ・「アセスメントプロセス概論」について ・ワーク 2「仮説生成プロセス」 ・「アセスメントプロセスにおけるスキル」 ・ワーク 3「情報収集スキル+α」 ・ワーク 4「仮説検証・共有」前半 ・ワーク 4「仮説検証・共有」後半 ・まとめ

サービス品質の向上を目指した取り組み

名東福社会は、提供するサービスの品質管理を法人全体でおこないたいと考えています。法人・事業所の特色を活かしながら、利用者に満足していただけるサービスの提供を目指していきます。

そのためにも、人材育成やサービス改善の仕組みは必須です。

1. 委員会

【虐待防止・身体拘束適正化委員会】

(1) 目的

名東福祉会が運営する障害福祉サービス事業等において、利用者の尊厳・人権を守り虐待を防止するために適切な措置を講ずること、および、利用者の身体拘束等の適正化を推進することを目的とする。

(2) 構成

理事長、担当理事、各事業所管理者・副所長、第三者委員、利用者および家族の代表

(3) 活動報告

実施日	テーマ	内容等	参加人数
5/24	規程内容の検討と確認	社会福祉法人名東福祉会障害者虐待防止・身体拘束適正化委員会規程、身体拘束等適正化のための指針、虐待防止マネジメント会議の報告	8
8/19	当事者参加	自己紹介、虐待防止リーフレットを活用しての当事者との対話、虐待防止マネジメント会議の報告	8

(4) 成果等

前年度の準備会から法人の機能として虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置することができた。

第2回目の委員会においては、立候補により3名の当事者が参加し、それぞれが虐待に限定することなく、要望や希望も含めて話すことができた。

【給食委員会】

(1) 目的

提供される給食の内容を検討することにより、より安全で、品質の高い食事提供を目指す。

また、委託業者と法人が食事提供に関して共通の目標を持ち、給食メニューの見直しをおこなう。

(2) 構成

法人：本部長、栄養士、事業所支援員各1名

委託業者：エリアマネージャー1名、管理栄養士1名

(3) 活動報告

実施日	テーマ	内容等	参加人数
5/12	食事提供について	非常食について、貧血が改善されない原因として考えられること、良かった点、改善・要望点の確認	7
6/9	食事提供について	リクエストメニュー、食中毒・熱中症、良かった点、改善・要望点の確認	8
7/14	食事提供について	価格改定、冷凍冷蔵庫の入れ替え、嗜好調査アンケート、良かった点、改善・要望点の確認	8
8/9	食事提供について	配膳時の声掛け、新型コロナウイルス感染対応、良かった点、改善・要望点の確認	7
10/13	食事提供について	嗜好調査結果、ご飯の柔らかさ、イベントメニュー、良かった点、改善・要望点の確認	6
11/10	食事提供について	芋類の硬さ、味付け、良かった点、改善・要望点の確認	8
12/9	食事提供について	原材料価格の高騰、アレルギー対応利用者の確認、良かった点、改善・要望点の確認	8
1/12	食事提供について	副菜の提供漏れ、亜鉛について、スチコンの故障、乳製品の提供について、良かった点、改善・要望点の確認	8
2/9	食事提供について	上ノ山作業棟の残飯、朝食の乳製品、果物の皮、良かった点、改善・要望点の確認	7
3/9	食事提供について	新型コロナウイルス感染対応（マスクの着用）、厨房機器の入れ替え・修理、良かった点、改善・要望点の確認	7

(4) 成果等

各事業所の検食簿に記載された内容を参考に、味付け、食材のバランス、盛り付け等について、委託業者の献立作成の参考となるような話し合いをおこなうことができた。

前年度に引き続き、事業所ごとの厨房現場における味付け、提供方法等の細かな違いに関して確認し、修正、改善に結びつけることができた。

嗜好調査結果や利用者からのリクエストの聞き取りにより、委託業者へリクエストメニューという形で献立に反映させることができた。

2. 研修会等

【「支援リーダーのしごと」研修会】

(1) 目的

技術や知識、アレンジ力（配置する、整える力）・アドリブ力（臨機応変な対応力）など、総合的なスキルアップを図ることで、リーダーシップ力を身につけ、法人全体を視野に入れて利用者支援ができる職員を目指す。

(2) 構成

理事長、各事業所副所長・ユニット責任者、職員

(3) 活動報告

実施日	テーマ	内容等	参加人数
4/11	今年度のテーマ	利用率増加に向けての取り組み、今年度の活動内容	7
5/10	事業所紹介	レジデンス日進の紹介	7
7/11	事業所紹介	はまなすの紹介	8
12/12	事業所紹介	メイトウ・ワークスの紹介	6
1/16	事業所紹介	上ノ山ホームの紹介	7
2/13	事業所紹介	天白ワークスの紹介	6
3/13	事業所紹介のまとめ	事業所として何が必要なのか、次年度の目標	6

(4) 成果等

各事業所の現状を事業所紹介という形で説明することで、メンバーひとりひとりが所属する事業所を客観的にとらえる機会とすることができた。

自己紹介に対して、不明な箇所や疑問点をメンバー同士が積極的に発言することで、課題問題点等が明確となり、次年度の研修会の検討課題に結びつけることができた。

【施設環境コーディネーター研修】

(1) 目的

利用者を変えるのではなく、環境（支援員）を変えることで利用者の行動を変える方法を学ぶことにより、メイトウ・ワークスでの行動障害者支援のための準備を進める研修。

(2) 構成

各事業所管理者推薦職員

(3) 活動報告

毎月第1火曜日に開催。

- ・前半はメイトウ・ワークスの現状の検討と、構造化について検討した。後半は各施設を見学し、構造の整理、支援について意見交換した。

実施日	テーマ	内容等	参加人数
5/10	メイトウ・ワークス構造化	メイトウ・ワークスの各部屋の構造のメリット・デメリット	7
6/7	メイトウ・ワークス構造化	メイトウ・ワークスの各部屋の構造のメリット・デメリット	6
7/5	メイトウ・ワークス構造化	メイトウ・ワークスのレイアウトと各部屋の特徴	6
9/5	天白ワークス見学	天白ワークスの構造支援を見学・意見交換	4
11/8	はまなす見学	はまなすの構造支援を見学・意見交換	3
12/6	上ノ山作業棟見学	上ノ山作業棟の構造支援を見学・意見交換	3
2/7	レジデンス日進見学	レジデンス日進の構造支援を見学・意見交換	3

(4) 成果等

日常では常識となり見失いやすくなっている支援の在り方や構造について、外部から見ることによって新しい見方ができるきっかけとなった。

3. 機関誌「WORKS」編集部

法人機関誌「WORKS」を発行。事業の紹介や制度動向、関連領域の話題を通じて、障害福祉サービスのあり方を提言していく。

法人利用者、職員、後援会員、関係団体等に配布・送付している。

No.148 (9月発行)

「法人の近況報告」

No.149 (2月発行)

「利用者が参加した虐待防止委員会」

決算報告

社会福祉事業区分資金収支内訳表
(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月 31日

動 定 科 目		本部	はまなす	上ノ山ホーム	メイトウ・ワークス	天白ワークス	レジデンス目進	合 計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	収入		61,908,656	76,037,092	1,101,270	1,490,300	1,463,689	4,055,259	△11,520	4,043,739
	雑費収入				50,814,212	70,540,828	220,650,532	479,951,320		479,951,320
	借入金利息補助金収入						27,000	27,000		27,000
	経常経費寄附金収入	218,000	69,600	215,000	135,000	612,800	9,465,000	10,715,400		10,715,400
	受取利息配当金収入	2,348					11	2,359		2,359
	その他の収入	1,356,400	1,152,308	657,459	615,201	848,955	2,092,317	6,722,640	△33,000	6,689,640
	事業活動収入計(1)	1,576,748	63,130,564	76,909,551	52,665,683	73,492,883	233,698,549	501,473,978	△44,520	501,429,458
	支出		56,048,584	69,285,148	37,572,420	47,194,037	165,035,879	375,801,738		375,801,738
	人件費支出	665,670								
	事業費支出	864,834	5,780,503	12,742,730	6,827,540	7,428,446	36,774,069	70,418,122	△40,820	70,377,302
事務費支出	1,315,182	4,502,627	5,146,969	5,958,712	5,859,718	20,415,870	43,199,078	△3,700	43,195,378	
就労支援事業支出				1,174,036	1,669,785	1,977,600	4,821,421		4,821,421	
支払利息支出						54,000	54,000		54,000	
その他の支出		1,032,249	1,131,534	673,104	1,113,706	2,974,546	6,925,139		6,925,139	
事業活動支出計(2)	2,845,686	67,363,963	88,306,381	52,205,812	63,265,692	227,231,964	501,219,498	△44,520	501,174,978	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△1,268,938	△4,233,399	△11,396,830	459,871	10,227,191	6,466,585	254,480		254,480	
施設整備等による収入	収入	16,600,000					2,250,000	2,250,000		2,250,000
	支出	16,600,000					2,250,000	16,600,000		16,600,000
施設整備等による支出	収入						2,250,000	2,250,000		2,250,000
	支出		266,708			114,400	3,334,741	3,715,849		3,715,849
その他の活動による収支	収入		266,708			114,400	7,834,741	8,215,849		8,215,849
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	16,600,000	△266,708			△114,400	△5,584,741	10,634,151		10,634,151
	積立資産取崩収入	91,945,501	279,000		148,800		1,339,200	93,712,501		93,712,501
	拠点区分間繰入金収入	2,000,000						2,000,000	△2,000,000	
	その他の活動収入計(7)	93,945,501	279,000		148,800		1,339,200	95,712,501	△2,000,000	93,712,501
	積立資産支出	62,600,000	486,311	105,744	294,903	506,005	1,652,787	65,645,750		65,645,750
	拠点区分間繰入金支出					2,000,000		2,000,000	△2,000,000	
	その他の活動支出計(8)	62,600,000	486,311	105,744	294,903	2,506,005	1,652,787	67,645,750	△2,000,000	65,645,750
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	31,345,501	△207,311	△105,744	△146,103	△2,506,005	△313,587	28,066,751		28,066,751
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	46,676,563	△4,707,418	△11,502,574	313,768	7,606,786	568,257	38,955,382		38,955,382
前期末支払資金残高(11)	収入	△35,352,344	71,702,800	△6,113,913	52,309,230	72,488,363	156,546,180	311,580,316		311,580,316
	支出	11,324,219	66,995,382	△17,616,487	52,622,998	80,095,149	157,114,437	350,535,698		350,535,698

(単位：円)

社会福祉事業区分事業活動内訳表

(自) 令和4年4月1日(至) 令和5年3月31日

勘定科目		本部	はまなす	上ノ山ホーム	メイノウ・ワークス	太白ワークス	レジデンス日進	合計	内部取引消去	事業区分合計	
サービス活動増減の部	就労支援事業収益				1,101,270	1,490,300	1,463,689	4,055,259		4,043,739	
	障害福祉サービス等事業収益		61,908,656	76,037,092	50,814,212	70,540,828	220,650,532	479,951,320	△11,520	479,951,320	
	その他の収益		108,000		117,600	51,150	157,200	433,950		433,950	
	経常経費等附加収益		69,600	215,000	135,000	612,800	9,465,000	10,715,400		10,715,400	
	サービス活動収益計(1)		218,000	62,086,256	76,252,092	52,168,082	72,695,078	495,155,929	△11,520	495,144,409	
	人件費	185,670	56,834,105	69,894,022	37,893,413	47,796,132	165,762,046	378,365,388		378,365,388	
	事業費	864,834	5,780,503	12,742,730	6,827,540	7,428,446	36,774,069	70,418,122	△40,820	70,377,302	
	事務費	1,315,182	4,502,627	5,146,969	5,958,712	5,859,718	20,415,870	43,199,078	△3,700	43,195,378	
	費用	459,465	3,688,969	3,197,515	1,230,226	791,319	1,977,600	3,999,145		3,999,145	
	減価償却費		△1,545,246	△299,997	3,869,754	3,869,754	15,701,702	30,767,676		30,767,676	
国庫補助金等特別積立金取崩額		108,000		△1,394,098	117,600	△8,973,915	△13,546,152		△13,546,152		
その他の費用						99,300	376,050		376,050		
サービス活動費用計(2)		2,825,151	69,368,958	90,681,239	54,503,147	64,444,140	231,756,672	513,579,307	△44,520	513,534,787	
サービス活動増減の部		△2,607,151	△7,282,702	△14,429,147	△2,335,065	8,250,938	△20,251	△18,423,378	33,000	△18,390,378	
特別増減の部	借入金利息補助金収益	2,348					27,000	27,000		27,000	
	受取利息配当金収益	1,356,400	1,152,308	657,459	615,201	848,955	2,034,417	6,664,740	△33,000	6,631,740	
	その他のサービス活動外収益		1,152,308	657,459	615,201	848,955	2,061,428	6,694,099		6,661,099	
	サービス活動外収益計(4)		1,358,748	1,152,308	657,459	615,201	848,955	2,061,428		2,031,043	
	支払利息			924,249	1,131,534	555,504	1,113,706	2,875,246		2,875,246	
	その他のサービス活動外費用										
	サービス活動外費用計(5)			924,249	1,131,534	555,504	1,113,706	2,875,246		2,875,246	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)			228,059	△474,075	59,697	△264,751	△867,818	39,860	△33,000	39,860
	経常増減差額(7)=(3)+(6)		△1,248,403	△7,054,643	△14,903,222	△2,275,368	7,986,187	△888,069	△18,383,518		△18,383,518
	施設整備等補助金収益	16,600,000						2,250,000	16,600,000		16,600,000
施設整備等寄附金収益	2,000,000						2,000,000	2,000,000		2,000,000	
拠点区分間繰入金収益											
特別収益計(8)	18,600,000						2,250,000	20,850,000	△2,000,000	18,850,000	
固定資産売却損・処分損			1				322,479	322,481		322,481	
国庫補助金等特別積立金積立額							2,250,000	2,250,000		2,250,000	
拠点区分間繰入金費用											
特別費用計(9)			1								
特別増減差額(10)=(8)-(9)		18,599,999	△1				△322,479	16,277,519	△2,000,000	16,277,519	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		17,351,596	△7,054,644	△14,903,222	△2,275,368	5,986,187	△1,210,548	△2,105,999		△2,105,999	
前期繰越活動増減差額(12)		118,586,105	85,360,941	63,832,504	79,184,044	80,867,169	149,639,296	577,470,059		577,470,059	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		135,937,701	78,306,297	48,929,282	76,908,676	86,853,356	148,428,748	575,364,060		575,364,060	
基本金取崩額(14)											
その他の積立金取崩額(15)		91,945,501						91,945,501		91,945,501	
その他の積立金積立額(16)		62,600,000						62,600,000		62,600,000	
繰越活動増減差額の部		165,283,202	78,306,297	48,929,282	76,908,676	86,853,356	148,428,748	604,709,561		604,709,561	

(単位：円)

法人単位貸借対照表
令和5年3月31日現在

	資 産 の 部			負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減	
流動資産	375,235,409	335,541,138	39,694,271	流動負債	38,265,516	41,888,903	△3,623,387
現金預金	289,529,288	253,095,595	36,433,693	事業未払金	19,683,718	19,697,139	△13,421
事業未収金	82,887,457	79,805,802	3,081,655	1年以内返済予定設備資金借入金		4,500,000	△4,500,000
商品・製品	1,360,420	949,270	411,150	預り金	25,568	21,976	3,592
仕掛品	624,070	264,660	359,410	職員預り金	2,806,230	2,879,788	△73,558
原材料	199,705	147,989	51,716	賞与引当金	15,750,000	14,790,000	960,000
立替金	104,927	33,224	71,703	固定負債	38,153,426	36,925,826	1,227,600
前払費用	529,542	1,235,598	△706,056	退職給付引当金	38,153,426	36,925,826	1,227,600
仮払金		9,000	△9,000	負債の部合計	76,418,942	78,814,729	△2,395,787
固定資産	1,116,363,092	1,171,855,301	△55,492,209	純 資 産 の 部			
基本財産	909,692,485	932,907,943	△23,215,458	基本金	351,829,014	351,829,014	
土地	365,024,864	365,024,864		基本金	351,829,014	351,829,014	
建物	543,667,621	566,883,079	△23,215,458	国庫補助金等特別積立金	317,307,867	328,604,019	△11,296,152
定期預金	1,000,000	1,000,000		国庫補助金等特別積立金	317,307,867	328,604,019	△11,296,152
その他の固定資産	206,670,607	238,947,358	△32,276,751	その他の積立金	141,333,117	170,678,618	△29,345,501
建物	7,653,713	8,392,985	△739,272	建設積立金	41,000,000	83,000,000	△42,000,000
構築物	1,838,736	2,068,297	△229,561	人件費積立金	54,499		54,499
機械及び装置	18	29,686	△29,668	修繕積立金	65,746,618	65,746,618	
車輛運搬具	5,434,014	7,496,333	△2,062,319	設備整備積立金		4,000,000	△4,000,000
器具及び備品	11,758,981	12,764,861	△1,005,880	施設整備等積立金	34,532,000	17,932,000	16,600,000
権利	410,772	502,922	△92,150	次期繰越活動増減差額	604,709,561	577,470,059	27,239,502
退職給付引当資産	38,153,426	36,925,826	1,227,600	次期繰越活動増減差額	604,709,561	577,470,059	27,239,502
建設積立資産	41,000,000	83,000,000	△42,000,000	(うち当期活動増減差額)	△2,105,999	△28,333,511	26,227,512
人件費積立資産	54,499		54,499				
修繕積立資産	65,746,618	65,746,618					
設備整備積立資産		4,000,000	△4,000,000				
差入保証金	42,800	42,800					
長期前払費用	45,030	45,030					
施設整備等積立資産	34,532,000	17,932,000	16,600,000	純資産の部合計	1,415,179,559	1,428,581,710	△13,402,151
資産の部合計	1,491,598,501	1,507,396,439	△15,797,938	負債及び純資産の部合計	1,491,598,501	1,507,396,439	△15,797,938

(単位：円)

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和56年8月認可)

法人事務センター 〒470-0124 日進市浅田町上納58-4
TEL(052)805-1003 FAX(052)805-1004

法人ホームページ <http://www.meito.or.jp/>



種別	名称	住所	電話番号	FAX番号	E-mail
生活介護	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市長勢区勢子坊2-1303	(052)702-2864	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
生活介護	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市長白区御前場町327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
生活介護 相談支援	はまなす	〒465-0054 名古屋市長東区高針台1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
施設入所支援 生活介護 短期入所	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
グループ ホーム	上ノ山ホーム	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山12-1	(052)808-4878	(052)808-4878	